

小山工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	都市防災論	
科目基礎情報							
科目番号	0007			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	複合工学専攻 (建築学コース)			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	防災リテラシー, 太田・松野, 森北出版						
担当教員	堀 昭夫						
到達目標							
1. それぞれの災害時において起こりうる事柄について説明できる。 2. 災害時に被害を低減するための建築的な事前および事後の対策について説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
それぞれの災害時において起こりうる事柄について説明できる。	それぞれの災害時において起こりうる事柄について十分に理解し、明確に説明できる。			それぞれの災害時において起こりうる事柄について概ね説明できる。		それぞれの災害時において起こりうる事柄について説明できない。	
災害時に被害を低減するための建築的な事前および事後の対策について説明できる。	災害時に被害を低減するための建築的な事前および事後の対策について十分に理解し、明確に説明できる。			災害時に被害を低減するための建築的な事前および事後の対策について概ね説明できる。		災害時に被害を低減するための建築的な事前および事後の対策について説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ④ JABEE (D)							
教育方法等							
概要	地域・都市・建物の災害や防災について理解し, 事前・事後の対策の立案および応用力を養う。						
授業の進め方・方法	授業は, 輪講形式を基本に行い、必要に応じて教員が関連補足説明を行う。						
注意点	隔年開講科目 (令和3 年度は開講せず。) 授業前に教科書の該当範囲を通読しておくこと。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	大震災(阪神, 東日本)		東日本大震災、阪神淡路大震災で起こったことを理解する。		
		2週	災害とは(～3.2)		自然災害について理解する。		
		3週	地震		地震および被害について理解する。		
		4週	津波(～5.1)		津波および被害について理解する。		
		5週	台風と豪雨		台風・豪雨および被害について理解する。		
		6週	火災		火災および被害について理解する。		
		7週	災害と住宅		災害時の住居について理解する。		
		8週	ライフライン		ライフラインおよび被害について理解する。		
	2ndQ	9週	災害情報(～9.3)		災害時の情報について理解する。		
		10週	復興計画(～10.4)		復興計画・まちづくりについて理解する。		
		11週	南海トラフ		南海トラフの地震・被害想定について理解する。		
		12週	エネルギーと温暖化		エネルギーや温暖化について理解する。		
		13週	原子力と災害		原子力発電所と災害について理解する。		
		14週	災害リスク管理		災害リスク管理について理解する。		
		15週	事業継続計画		事業継続計画について理解する。		
		16週	定期試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	構造	マグニチュードの概念と震度階について説明できる。		5	
				地震被害を受けた建物の破壊等の特徴について説明できる。		5	
評価割合							
	試験	提出物	発表	態度	ポートフォリオ	輪講での説明内容	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	20	0	0	0	0	5	25
分野横断的能力	60	0	0	0	0	15	75